



白羽小児童が提案書を提出

白羽小学校の6年生が7月22日、授業でまとめた「御前崎市をよりよくするための提案書」を柳澤市長へ手渡しました。児童61人は、4月から政治や自治体の動きについて学習を重ね、今回「子育て支援」、「高齢者福祉」、「防災」の分野で考えをまとめました。柳澤市長は「皆さんはまちの将来を担う人材。思いやりのある心豊かな人になってください」と伝えました。

◀提案書を柳澤市長に手渡す児童



親子で木の本棚・椅子作り

親子工作教室が7月24日、浜岡東小学校で開催され、21組46人の親子が参加しました。同教室では、小笠建築合同組合、御前崎市建築組合、御前崎職工組合の熟練職人12人が講師を務め、椅子や本棚などの作品作りをサポートしました。参加者は「ビスをまっすぐに打ち込むことが難しい」「木の先生のおかげできれいに作ることができた」と工作を振り返りました。

◀協力して本棚にビスを打ち込む親子



河川愛護活動が認められる

地元住民で構成される東町早苗町河川愛護の会が7月28日、県袋井土木事務所長から表彰されました。河川愛護美化活動に尽力している団体に贈られるもので、同会が平成29年から毎年複数回にわたり、新野川や朝比奈川などの草刈り活動を実施していることが評価されました。山口雄一代表(東町)は「今後も河川をきれいに保つため活動していく」と話しました。

◀酒井浩行所長から賞状を受け取る山口代表



浜中生が東海中学総体出場

浜岡中学校3年生の藤田祐咲さん(東町)と河原崎えなさん(朝比奈原)が8月4日、陸上競技で東海大会に出場することを柳澤市長に報告しました。

祐咲さんが女子共通200m、えなさんが女子共通砲丸投に出場します。2人は「緊張せずに試合に挑み、東海大会でも自己ベストを更新できるように頑張りたい」と決意を新たにしました。

◀柳澤市長は「東海大会でも勝ち抜いてほしい」と激励しました



平和が続くように祈念する

戦没者追悼式・平和祈念式典が8月15日、御前崎市民会館で執り行われ、遺族や関係者が戦没者1052柱の冥福を祈りました。式典では、先の大戦で祖国のために尊い命をささげた人々の御霊に対し、黙とうをささげました。遺族会長の増田幹夫さん(新谷区)は「悲しみの歴史を繰り返さないよう平和の大切さを後世に伝えていきたい」と言葉を述べました。

◀献花台に献花する遺族代表者



国民体育大会の剣道に出場

10月3日から5日に開催される「第77回国民体育大会剣道大会」の県代表に選抜された高田和幸さん(広沢区)が8月17日、大会への出場と抱負を柳澤市長に伝えました。高田さんは「第59回静岡県年代別剣道選手権大会」の55歳以上の部で優勝し、主将兼監督に選ばれました。高田さんは「本大会は団体戦。チームとして勝利できるよう貢献したい」と語りました。

◀柳澤市長は「全国の強豪を相手に勝ち抜いてほしい」と話しました



ラグビー女子日本代表合宿

15人制ラグビー女子日本代表が、8月17日から21日にかけて御前崎ネクスタフィールドで合宿を実施しました。同チームは、10月に開催されるワールドカップニュージーランド大会に出場します。

8月17日に執り行われた歓迎式では、南早紀主将が「御前崎市はラグビーに打ち込む環境が整っている。ワールドカップへ弾みを付けたい」と話しました。

◀記念品を受け取る磯貝美加紗選手⑤と小牧日菜多選手④



中小企業のデジタル化支援

市、市商工会、島田掛川信用金庫が8月17日、「中小企業者等のデジタル化推進に関する連携協定」を締結しました。これにより、企業が抱える雇用不足や人材不足などを解決するため、3者が協力してデジタル推進を支援します。

柳澤市長は「現代社会において、デジタル化はとても重要。企業の発展につなげたい」と話しました。

◀左から河原崎商工会長、柳澤市長、伊藤理事長